

「明和義人」について調べたい

「明和義人」とは

1768（明和5）年、新潟町で困窮する町民の暮らしを救おうと立ち上がり、長岡藩に代わり自らの手で町政を行った涌井藤四郎と岩船屋佐次兵衛を中心とした人々のこと。新潟町では、一揆の後2か月間にわたり住民自治が行われましたが、その後、藩により処刑されました。

「明和義人」は、新潟で住民自治を行ったという歴史的な出来事です。このパスファインダーでは、「明和義人」について調べるための資料や情報を紹介します。

<もくじ>

- 1 概略を知る
- 2 詳しく知る
- 3 歴史探訪
- 4 様々なメディアでの明和義人



（キャラクターデザイン 高橋郁丸）

※【 】内は中央図書館の請求記号です。お探しの際は、図書館職員にお尋ねください。

▼概略を知る▼

資料名 / 著者名	出版情報 ほか	場所 / 請求記号
『明和義人』	新潟市文化スポーツ部文化政策課 2007年	2階 郷土【NG213.5メI】
明和義人の基本事項をまとめたリーフレット。関係年表や明和義人ゆかりの地古町周辺散策絵図をカラーで紹介。		
『新潟歴史物語』	新潟市 2000年	2階 郷土【NN213.1ニI】
「新潟歴史双書」シリーズの3巻。騒動の概略を端的にまとめた解説文あり。		
『新潟市史 通史編 2』	新潟市 1997年	2階 郷土【NN213.1ニI】
騒動前夜から騒動後の治安対策まで。図表を交えて概観する。		
『新潟県史 通史編 4』	新潟県 1988年	2階 郷土【NK200ニI】
先行文献を紹介しながら、長岡藩の動向を含めて騒動の顛末を解説。騒動の原因や、影響についても触れている。		

▼詳しく知る▼

資料名 / 著者名	出版情報 ほか	場所 / 請求記号
『新潟市史読本』 / 新潟市郷土資料館編	新潟市郷土資料館 1979年	2階 郷土【NN213.1ニI】
明和騒動について詳細な記述がある。引用も多く、他の文献にあたる足がかりにもなる。		
『新潟明和騒動』 / 齋藤 紀生	東銀座出版社 1996年	2階 郷土【NN213.5サイ】
騒動のあらましや研究史の変遷や文献資料の紹介、歴史探訪など、明和騒動研究のための入門書というべき資料。明和騒動に関する文献・資料目録あり。		

『新潟明和騒動文献資料集成』 / 齋藤 紀生	文芸社 2002 年	2 階 郷土 【NN213.5 サイ】
明和騒動の文献資料についてまとめたもの。巻末に著者別・書名別・雑誌新聞別・団体別索引あり。		
『新潟明和義人事蹟のあらまし』 / 新潟郷土史研究会編	新潟郷土史研究会 1960 年	2 階 郷土 【NN213.5 ニイ】
明和騒動について新潟以外の人々にも広く知らしめることを目的として発行された小冊子。騒動のあらましを中心に、筆者である山下隆吉による騒動についての見解も収録。		
『新潟郷土古文献 第1集』 / 井上 馬来	新潟郷土史研究会 1965 年	2 階 郷土 【NN213.5 ニイ1】
明和騒動に実際に直接参加した井上馬来が騒動の全過程を詳細に記録した『旭湊俚諺明和間記』及び騒動の直後に書かれたと思われる作者不詳の『明和五子年新潟町中之事』を収録。		
『新潟明和義人』 / 藤田 福太郎	新潟明和義人顕彰会 1928 年	閉架書庫 【NN213.5 フジ】 館内閲覧
昭和3年に読み物として発行されたもの。口絵部分に涌井藤四郎の墓の写真や明和義人顕彰記念碑設計図などの紹介あり。また付録として『長岡町御用留』収録。		
『新潟富史』 / 寺門静軒	寺門静軒 1889 年	2 階 郷土 【NN213.5 ジモ】
明和騒動のことを確実に世の人々に伝達する役割を果たした最初の文献。		

▼歴史探訪▼

資料名 / 著者名	出版情報 ほか	場所 / 請求記号
『にいがた寺町から』 / にいがた寺町からの会	にいがた寺町からの会 2002 年	2 階 郷土 【NN185 ニイ】
涌井藤四郎と岩船屋佐次兵衛の墓がある長照寺と白山公園内にある明和義人顕彰碑を掲載。寺めぐりをするのに適した地図。		
「文化探検マップシリーズ 11 中央地区」	新潟市文化振興課 2004 年	2 階 郷土 【NG291.13 ニイ】
明和義人顕彰碑のある白山公園内の地図を掲載。		
「ふるさとの石碑を訪ねて」 / 新潟市商業観光課	新潟市商業観光課 1987 年	2 階 郷土 【NG291.13 フル】
市内の石碑を紹介した一枚もの。白山公園内にある「明和義人顕彰碑」が写真付きで簡単ではあるが紹介されている。		

▼様々なメディアで紹介された明和義人▼

資料名 / 著者名	出版情報 ほか	場所 / 請求記号
「明和義人」	DVD 新潟青年会議所 2009 年	2 階 AVコーナー 【D09 ヲ】
現代の小学生が、幕末、新潟明和騒動前日の新潟にタイムスリップ。涌井藤四郎たちの一揆を目の当たりにし、その当時の新潟人の熱い心を知る。子どもから楽しめる。		
「明和義人ものがたり」 / 石倉恵子 脚本・絵	紙芝居 2008 年	1 階 児童絵本コーナー 【C ヲ】
明和義人の物語を紙芝居として作成されたもの。		

『新潟義民涌井藤四郎之実伝』 / 小林 寅八 著 正流斎 鶴窓 講演 浦野 左右太 速記	図書 新潟公友社 1916年	閉架書庫【NN289ワク】館内閲覧
講談を記録したもの。出版された当時、様々な偉人たちをおもしろおかしく脚色して講談することが流行した。涌井藤四郎についても、講談となって人々に広められた。奥付には「正流斎鶴窓こと小林寅八講談」となっているが、真偽は不明。現在の旭堂一門(二代目が正流斎鶴窓)とは無関係らしい。		
『郷土読本 下巻』 / 新潟市小学校教員会 編	図書 目黒書店 1932年	閉架書庫【NN375キヨ】 館内閲覧
「明和の義人」という項目で、小学生の副読本として発行。難しい言葉には脚注が載っている。		
『おはなし歴史風土記 新潟県』 / 歴史教育者協議会	図書 岩崎書店 1981年	1階 児童知識【N200オ】
「新潟みなとのうちこわし」という項目で、子どもが読めるように、明和義人の物語を掲載。最後に、「信濃川溺死者之墓」のことまで触れている。		
明和義人祭ホームページ	インターネット	http://www.meiwagjin.jp/
8月下旬、愛宕神社・口之神社で行われる祭。2010年のときは講談、紙芝居等も行われた。		

(インターネット情報は2011年3月20日確認)



図書館では、資料・情報を使って、皆さんの疑問や課題を解決するお手伝いをしています(レファレンスサービス)。お気軽に、図書館職員にお声がけください。